

海外安全対策情報 平成27年度第1四半期

1. 社会・治安情勢

- (1) 4月2日、国家安全保障委員会は、シリアにおける戦闘に参戦していたとして、キルギス国民3人を拘束したと発表した。
- (2) 4月13日、ジャララバード州スザク地区において、国家野党運動が150人規模の集会を開催した。
- (3) 5月13日、オシュ市裁判所は、「アル・ヌスラ戦線（ジャブハット・アル・ヌスラ）」、「カティバト・アルイمام・ブハリ」、「ジャナト・オシクラリ」をテロ組織と認定し、当国での活動を禁止した。
- (4) 6月29日、キルギス国境警備隊は、バトケン州において、キルギス国境警備隊とウズベキスタン国境警備隊の間で銃撃戦が発生したと発表した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生し、銃器薬物関係犯罪の発生も多い。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

(1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

- ア 4月4日、チュイ州ジャイル地区において、タクシー運転手が殺害され、7日、警察は被疑者2人を逮捕したと発表した。
- イ 4月7日午後3時15分ころ、ビシュケク市トクトグール通りのレストランにおいて銃器使用強盗事件が発生し、中国人が現金3,000ドル及びバックを強奪された。
- ウ 4月19日午後3時ころ、ビシュケク市内の衣料品店において強盗事件が発生し、被疑者は店員を負傷させた上、330,000ソム相当の商品を強奪した。同日、警察が被疑者を逮捕した。
- エ 5月9日、オシュ州カラ・スーチー地区においてタクシー運転手の遺体が発見され、11日、警察は被疑者3人を逮捕したと発表した。
- オ 5月11日、ビシュケク市ジュマベック通りの住宅において強盗事件が発生し、現金、貴金属、携帯電話等が強奪された。18日、警察は被疑者2人を逮捕したと発表した。
- カ 6月11日午後9時30分ころ、ビシュケク市フルンゼ通りにおいて、交通警察官の停止指示に応じなかった運転手が交通警察官に対して拳銃を発砲する事件が発生した。運転手は現場から逃走し、追跡中の警察官

が運転手に対して発砲して、身柄を確保した。交通警察官及び運転手はその後死亡が確認された。

(2) 邦人被害

4月15日午前8時30分ころ、ビシュケク市中心部路上において当地滞在中の邦人男性1名が被害に遭う窃盗事件が発生した。

3. テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ事件

認知していない。

(2) 爆弾事件

認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 誘拐・脅迫犯罪の一例

昨年4月にビシュケク市内で発生した身代金目的誘拐事件被疑者として、組織犯罪グループ構成員3人を逮捕したと、3日、内務省が発表した。

(2) 邦人被害

認知していない。

5. 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。(了)